

祭りのフィナーレを飾る花火



子どもみこしやダンス、のさか太鼓、民謡、カラオケなどが披露されました。

8/1

のさかふれあい祭り

今年の「駒まね」の様子



八重垣神社境内にしめ縄を張って祭場を作り、そこに青竹を持ち寄り、その青竹を焼いて無病息災・交通安全などを祈願しました。

7/25

駒まね・市場まつり

子どもみこしを元気に担ぐ子どもたち



元氣一杯によさこいソーランを踊る子どもたちに、見物人から温かい拍手が送られました



今年は祇園祭年番町である西本町区の新造神輿お披露目が行われました



25日は、地区内で子ども向けの「お祭り広場」が開かれ、26日は神輿が神社周辺を一日かけて大きな掛け声とともに威勢よく練り歩きました



7/25, 26

簗部田屋宮神社祭礼

23日は、白装束を身にまとった神楽士による御神幸行列が、お囃子の音にあわせて区内を厳かに巡行。24日は、3基の神輿が区内を威勢よく練り歩きました



7/23, 24

富谷愛宕神社祭礼



大浦灘子連の主催で毎年この日に開かれており、約300発の花火が夏の夜空を彩りました

8/15

大浦花火大会



神輿を押し倒すなど、その荒々しさから「けんか神輿」の異名をとります。見物人に見守られながら、威勢よく町内を練り歩きました

8/5

東谷八坂神社祇園祭



のさか太鼓、民謡の発表、夜店の出店などがあり、会場となった吉祥院は、浴衣姿の子どもや地元の人でにぎわいました

7/19

堀山西祇園祭

より豊かな子育てで社会をめざして

「こんにちは赤ちゃん事業」で共通商品券を支給



かわいらしい赤ちゃんを囲むと、訪問員との会話も自然と弾みます

若いお母さんたちの育児を支援

子どもは地域の宝です。すべての子どもと子育て家庭を、地域のみんなで支えあっていくために「こんにちは赤ちゃん事業」が行われています。

この事業は、生後4か月未満の赤ちゃんのいる家庭に訪問員が伺い、子育てに関する相談や情報提供を行うなど、地域での育児支援を目的とした事業です。

乳児訪問員は、主任児童委員や保健推進員など、子育てに深い関心と理解があり、豊富な経験を持った45人です。

出生時に市へ提出された「出生連絡票」に基づいて、市からはがきで「こんにちは赤ちゃん事業」についてお知らせし、その後、訪問員から訪問時期について連絡が来ることとなります。

4か月健診時に共通商品券を支給

匝瑳市では、子育て支援の一環として、平成21年2月2日以降に生まれた赤ちゃんがいて、引き続き市内に住民票がある世帯に、赤ちゃん1人につき2万円の匝瑳共通商品券を支給しています。

平成21年2～3月生まれの赤ちゃんがいる世帯にはすでに支給済みですが、4月以降生まれの赤ちゃんがいる世帯には、訪問員が訪問する際に「祝 お誕生カード」をお渡ししています。

この「祝 お誕生カード」を4か月健診時に提示すれば、

利用者の声

共通商品券はおむつ代に



熱田さん親子（野田地区）

訪問員さんとはリラックスして子どもの発育状況や母親の気持ちについて話せました。こうして家まで来てくれるのは大変ありがたいです。いただいた商品券はおむつ代にします。

親身になって聞いてくれた



森さん親子（豊和地区）

訪問員さんはにこやかで話しやすく、心配事がないか親身になって聞いてくれました。ベテランのお母さんが相談に乗ってくれればホッとします。商品券はミルク代に使います。

匝瑳共通商品券が交付されます。乳児訪問員をはじめとして、地域のみんなで子育てを支え合い、「こどもの笑い声あふれる地域」にしていきましょう。

問 健康管理課 073・1200



訪問時に渡される「祝 お誕生カード」